

交流活動を通して自尊感情を高める指導の工夫

本校では西東京市立学校教育研究奨励事業研究指定校として、ファシリテーションプログラムを活用した生徒同士の交流活動により、教え合ったり学び合ったりする力を高め、さらには他人を認め、他人から認められることを目指して授業を行っています。これにより、学力向上のみならず自己効力感、自己有用感、自己成長感などを醸成して、前向きで人との絆を大切にしながら、力強く自己の将来を切り開いて行くことのできる生徒の育成を目指しています。



ファシリテーションプログラムを用いてLEDの利点を探る理科の授業

田無第二中学校

互いを認め合い高め合える学校を目指して

本校では、特別支援学級(のびるI学級・のびるJ学級)を設置しており、通常学級との交流を積極的に行い、開かれた学校づくりを目指しています。

部活動や行事においても、活動を通して交流しています。運動会では、種目によって、のびる学級が勝つ場面もあり、競技の終了後には盛大な拍手が送られています。また、6月には本校体育館において特別支援学級交流会(田無一中・保谷中・青嵐中が参加)を行いました。午前中にバスケットボールの試合を行い、昼食後は、生徒・教員がお互いの健闘をたたえあえる、よい交流会となりました。

今後も、「互いを認め合い、高め合える学校」を目指していきたいと思ひます。



保谷中学校

ボランティア活動への参加

本校は、ボランティア活動が盛んに行われています。校内での活動では、本年度4月、6月、12月の3回にわたって、美化委員会が主体となり、延べ520人の生徒が校庭の清掃活動を行いました。校外では、学期に1回、近隣地域を清掃する活動を各学年の生徒が実施しています。また、一部の部活動が主体となって、10月16日に環境浄化運動、10月25日にこぶしの会主催の「ミニ運動会」、1月18日に「どんど焼き」など地域の行事にもボランティアとして参加しています。

各活動において、本校の生徒はとて前向きに取り組んでいます。今後も継続した活動を行っていきます。



田無第一中学校

さまざまなボランティア活動に取り組んでいます。



あいさつから始める!!

本校では、毎朝、数名の教員が玄関に立ち、生徒たちに「おはよう」とあいさつをしています。積極的にあいさつをすることが少なかった生徒たちですが、毎朝継続することで、生徒たちから声が出るようになってきました。気持ちのよい朝のあいさつである「おはようございます。」が一日の始まりを告げ、その様子を見るととてもすがすがしい気持ちになります。学期に1回は生活委員も校門に立ち、朝のあいさつ運動を行っています。生徒たちが元気に登校し、気持ちのよいあいさつが交わされます。積極的にあいさつのできる活気に満ち溢れた学校を目指していきます。



生活委員があいさつ運動を行っている風景

青嵐中学校

人権教育の推進

本校では、昨年度から「東京都教育委員会人権尊重教育推進校」の指定を受け、「豊かな人権感覚を育み、人に優しい教育環境の醸成を目指して-認め合い、助け合い、励まし合う心を通して-」をテーマに、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等すべての教育活動において、生徒の人権感覚を高めるための様々な取組を行っています。今年度はブラインドサッカーの日本代表の選手を招いて、生徒が実際にブラインドサッカーを体験し、併せて視覚障害の方の日常生活についての講話もしていただきました。生徒たちは障害のある人の生活について理解を深め、相手の立場に立って考え、人と自分を大切にすることを学んでいました。



ブラインドサッカーを体験している様子

田無第三中学校

老人福祉施設訪問ボランティア

本校では、生徒会が中心となって老人福祉施設へのボランティア訪問を実施しています。1・2年生を中心に有志を募り、数週間前から昼休みや放課後に練習をして臨みました。当日は施設内のホールに集まっていたいただいた方々に、代表によるダンスやハンドベル演奏のあと、全員で「時の旅人」と「ふるさと」の合唱を披露しました。期せずしていただいたアンコールにも、「校歌」でお答えしました。演奏や合唱の途中では、懐かしげな表情で一緒に口ずさんでいた方も多く、心温まる訪問となりました。今後もこのようなボランティア活動の輪を広げていきたいと思ひます。



全員で「時の旅人」「ふるさと」を合唱

ひばりが丘中学校

全校俳句づくり

言語能力向上拠点校として、「美しい日本語を身に付ける」をねらいとして、次の内容で全生徒が俳句づくりに取り組みました。①季節に応じたテーマで俳句を作る(運動会等の学校行事・夏休み・冬休み等)。②鑑賞句会を実施する(友達の作った俳句を鑑賞しながら、互いの良さや違いを認め合う)。

専門家を招いて学習した俳句づくりを通して、自分の気持ちを自分の言葉で表現でき、豊かな情操や互いの違いを認め合う気持ちが育まれました。



明保中学校

読書のすすめ

本校では、読書週間を設定し、生徒が読書に親しむ習慣を身に付けるように努力してまいりました。今回は、図書館や図書室を利用し、人に勧められる本を探すように声かけを行いました。読書週間中は、本を熱心に読んでいる姿が校内で多く見られました。この読書週間に合わせ、特色ある読書活動として、壁新聞の「読書のすすめ」を作成しました。生徒一人ひとりが自分の読んだ本を、あらすじ、おススメのポイント、感想などをまとめました。廊下に掲示することにより、読解力や自分の考えをまとめる力など、表現力を高めることができました。今後も読書活動を進めていきたいと思ひます。



廊下に掲示した壁新聞です

田無第四中学校

本の読み聞かせ

昨年度まで本校の教員が分担して、本の読み聞かせを朝学活の時間に実施していました。

今年度は、朗読団体「ひびき」の方々に、3冊の本の朗読をお願いしました。感情のこもった読み聞かせは生徒の心にも届き、実施後の感想文には「声に圧倒された。」「自分でも本を読んでみたくなった。」など、大変好評でした。特に「よだかの星」は小学校時代に読んだことのある生徒も多く、朗読後の解説を聞いて、以前には気付かなかった作品のもつ奥の深さを感じ取っていました。

読書を通じて、自身の心を豊かにする一助となることを願っています。



代表生徒によるお礼



熱心に聞き入る生徒

柳沢中学校